

広報

ほんべつ

1 January
HONBETSU
Public Relations
NO. 975



仙美里小学校



勇足小学校



本別中央小学校

2 ……新春のごあいさつ

今年はとら年。年男、年女の子供たちに新春の夢を聞きました

4 ……新春・夢・希望

6 ……生活・介護支援サポーター養成事業

8 ……北日本生涯学習まちづくりフォーラム

12 ……成人おめでとうございます / 国民年金コーナー

知っておこう

14 ……新型インフルエンザ

16 ……第6次本別町総合計画 Part8

21 ……本別町収穫祭

22 ……ほんべつ学びの日の集い

23 ……障がい者週間記念事業講演会

24 ……町民に愛される病院づくりを目指して

まなび白書……………26

ハロー本別中学校……………27

マイタウン……………28

みんなの健康・銀河ホットライン…32

ご寄付ありがとうございますなど…33

本のある暮らし・わたしたちのまち…34

新春のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新年を迎えられました皆様、心からお喜び申し上げます。日ごろより町政運営に格別のご理解とご協力を賜り心から厚くお礼を申し上げます。



本別町長
高橋正夫

昨年、低温・長雨など天候に恵まれず、基幹産業の農業にとつて厳しい年になりましたが、農業者の皆様の日ごろの努力と関係機関のご支援・指導により、何とか新年を迎えることができました。また、地方経済の景気回復は遅々として進まず、三位一体改革により、引き続き自治体は緊縮財政を余儀なくされるなど、地方を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。

私は、こうした状況の中、四期目の重点目標に「協働で安全・安心のまちづくり」を掲げさせていただきました。生活に密着した事業の確保と厳しい中にも活力を見出せる。また、次の時代に希望の持てる施策などを展開し、事業の選択と限られた財源の集中化を図るとともに、更なる行政改革の推進や町民の皆様と協働のまちづくりを進め、健全な行財政の運営に努力してまいりたいと考えています。

二〇〇九年は、道の駅「ステラ★ほんべつ」のオープンをはじめとした各事業やイベントで、創意と活力に満ちたまちづくりを推進することができました。これは、皆様をはじめ関係各位のご支援、ご協力の賜であり、この素晴らしい

「町民力」は、ほんべつのまちづくりの原動力であり、わたしたちが目指す「協働のまちづくり」は着実に前進し「成熟期」を迎えている証でもあります。また、国の緊急経済対策を積極的に導入し、本町経済の活性化に全力を尽くしてまいりました。

二〇一〇年は、厳しいときだからこそ、もつと故郷が元気になる、安全・安心して子育てや老後の生活を営むことができ、街中には「温かさ」と「やすらぎ」と「笑顔」が溢れる、彩り豊かな「日本一のまち」を町民の皆様とともに創造し、「任んで良かった」と思えるまちづくりを進めてまいります。

大きな変動の時期にあつて、町政を担う責任の大きさに思いを新たにしながら、一〇〇年余りの歴史と町民の皆様が築いてきた「まちづくり」の実績をしっかりと胸に刻み、未来の子どもたちに誇れるふるさと本別の建設に全力を傾注してまいりますので、本年も変わらぬお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご多幸とご健康を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

新年明けましておめでとうございます。平成二十二年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

本町の議会活動には、日ごろからご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様は、新年をどのような願いを持って迎えられるでしょうか。昨年、新政権が発足し、官僚依存からの脱却、地域主権などを政権公約とした政策がすすめられようとしております。

わが国の経済は、雇用情勢の悪化、消費の低迷、物価の下落、収益性の悪化で、デフレの懸念が強まっております。

本町の基幹産業である農業は、昨年六月からの天候不順により、冷害等による被害額は、十二億九千万円を超え、近年にないほどの大きな打撃を受けたところであります。

商工業につきましては、緊急経済対策、雇用対策などの事業により、一部の景況感に一時的な改善傾向が見られたものの、個人消費の低迷が続く、町内景況は依然として厳しい状況となっております。

こうした中、本町の財政運営は益々厳しさを増してまいりますが、今年こそは、少しでも明るい展望が開かれ、よい年になってほしいとの思いを新たにいたしましたところであります。



本別町議会議長
笠原 求

本町議会では、一昨年の十二月の定例会において、議会の活性化と議員の定数および報酬について総合的な調査研究を行うため、「議会の活性化等調査特別委員会」を設置し、昨年一年間で、延べ五十回を超える会議を開催し、議論を重ねてまいりました。

その間、町民の皆様から、多くの声をちょうだいし、議員定数、議員報酬に関する項目については、一定の結論を出すことが出来ませんでした。

その他の議会の改革項目については、本年三月までにお知らせしたいと考えております。議会の使命は、「町民が何を望み、何をすべきか」を十分検証し、町の行政運営が効果的に発揮されるよう監視機能の責務を全うすることにあります。

私も議会としても、少しでも住みよい町を目指し、お互いに助け合う「協働のまちづくり」を進めてまいります。

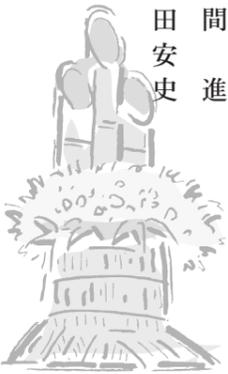
最後になりましたが、新春の門出に当たり、今年が皆様にとつて幸多いことを心から願ひ、年頭のごあいさつといたします。

迎春



- | | | |
|------------|------------|----------|
| 【役場】 | 町長 高橋正夫 | 委員 高橋利勝 |
| | 副町長 砂原 勝 | 委員 阿保静夫 |
| 【町議会】 | 議長 笠原 求 | 委員 永井米男 |
| | 副議長 高橋利勝 | 委員 目黒金次郎 |
| 【総務常任委員会】 | 教育委員長 若木佳則 | 委員 山田鶴雄 |
| 委員 黒山久男 | 職務代理者 水谷令子 | |
| 副委員長 三好喜美雄 | 委員 我妻勇次 | |
| 委員 方川英一 | 委員 布施耕一 | |
| 委員 佐川逸雄 | 教育長 澤田 満 | |
| 委員 戸田 徹 | 【選挙管理委員会】 | |
| 委員 林 武 | 委員長 千葉民彌 | |
| 委員 山西三三夫 | 職務代理者 中川祐一 | |
| 副委員長 方川一郎 | 委員 木下英子 | |
| | 委員 小林信雄 | |

- | | | |
|-----------|-------------|---------|
| 【監査委員】 | 代表 畑山一洋 | 委員 山下芳久 |
| 委員 山田鶴雄 | 職務代理者 土藏啓一 | |
| 【公平委員会】 | 委員 前田時男 | |
| 委員長 貢一 | 【社会教育委員】 | |
| 委員 棚村文子 | 委員長 三井孝寿 | |
| 委員 大和田和盛 | 副委員長 志戸田由美子 | |
| 【農業委員会】 | 委員 田口 守 | |
| 会長 山西輝美 | 委員 細田友子 | |
| 会長代理 浜名敏文 | 委員 工藤雅史 | |
| 委員 山西三三夫 | 委員 沼田久枝 | |
| 委員 荒木幸造 | 委員 真鍋伸一 | |
| 委員 友高裕満 | 委員 久能利幸 | |
| 委員 川上茂男 | 【本別消防団】 | |
| 委員 佐々木幸一 | 団長 遠藤利之 | |
| 委員 阿保静夫 | 副団長 川崎秀規 | |
| 委員 登坂 昇 | 委員 鈴江 薫 | |
| 委員 井上 薫 | 委員 三井孝寿 | |
| 委員 今野公司 | 本団部長 中村輝久 | |
| 委員 風間 進 | | |
| 委員 牧田安史 | | |



年男、年女になる子供たちは中央小、勇
たいことなどを聞いてみました。(敬称略)

2010年の干支はとら(寅)。平成10年生まれで今年、
足小、仙美里小合わせて78人。将来の夢、今年頑張り

勇足小学校

- 【5年生】
 - ☆夢||料理人になること 井根口龍也
 - ☆夢||看護師になること 丑若芽依子
 - ☆夢||農家をつぐことです 河野教佑
 - ☆夢||国家公務員になりたいです 志戸田行訓
 - ☆野球でピッチャーで完投することです 清野 準
 - ☆勉強をがんばる 本寺拓也
 - ☆バドミントンがもっと上手になりたいです 宮野真衣
 - ☆夢||保母さんになること 山下莉奈
 - ☆夢||農家をつぎたい 山西涼太
- 【6年生】
 - ☆夢||デザイナーになりたいです 上方志歩
 - ☆夢||美容師になりたいです 久木田夏海

仙美里小学校

- 【5年生】
 - ☆夢||レストランをつくること。家をたてたい 井出拓人
 - ☆もつといろんな本をよみたい 井出真理愛
 - ☆歴史(戦国物)の本をもつとよみたい 井出みゆき
 - ☆夢||パティシエになること 貝沼朱音
 - ☆夢||プロ野球選手のサード 加藤順也
 - ☆夢||おかし屋 齋藤 萌
 - ☆夢||犬やねこのじゅういさんになりたいです 佐藤安純
 - ☆夢||音楽系の仕事 布施あかね
 - ☆夢||じゅういになることです 本寺達哉
 - ☆夢||イチローみたいな、野きゅうの選手になりたい!大リーグにも出たい!ダルビッシュユミにボールをなげたい! 山田拓海
- 【6年生】
 - ☆夢||カフェ、小物店の小さな自分の店で、いろんな人の役に立つ仕事をしたたい 内田芽依
 - ☆中学生になるので、部活や英語を頑張りたい。むずかしくなる勉強にも力を入れていきたい 大泉瑳弥子
 - ☆夢||鉄道カメラマン 小川泰弘
 - ☆夢||きれいな景色とか動物をたくさんとるカメラマン 田中絵梨花

新春・夢・希望

一人ひとりに個性があり、夢がある。
その気持ちを忘れずに、君だけのよさを輝かせよう!



本別中央小学校

- 【5年生】
 - ☆夢|| (田中)こことピアノスト♪ 安部桃歌
 - ☆そろばんで5段をとること 飯坂真帆
 - ☆がくふをおぼえる! 五十嵐理紗
 - ☆夢||ロボットを作ること 大井悠介
 - ☆勉強をもっと頑張る!! 夢||イタリアン料理の店のシェフ 大浦寿里
 - ☆夢||かっこいいトラックの運転手 大川一輝
 - ☆夢||ケーキやさん。三人ぐらし!! 岡田明澄
 - ☆習い事や勉強を頑張りたい 小川果蓮
 - ☆野球の十勝大会でゆうしようする 小川将吾
 - ☆トランペットを、高い「ソ」ぐらいまでふけるようにする 奥村実莉
 - ☆夢||私はバスケットが好きなので、大人になったらプロバスケットボール選手になりたいです 小原理枝
 - ☆サッカーを頑張りたい 岸田成希
 - ☆夢||びようしになる事! 坂本 瞳
 - ☆水泳で全国大会に行く 夢||水泳選手 相楽まゆ
 - ☆夢||給料の高い職につく 佐久間雄大
 - ☆バスケットでベスト8に入る 佐藤唯華
 - ☆夢||パン屋 佐藤優希
 - ☆水泳で、いいタイムを出せるようにがんばりたいです 佐藤由起
 - ☆夢||学校の先生 真田知苑
 - ☆夢||トリマーになることです 鈴木藍梨
- 【6年生】
 - ☆勉強を頑張るって、いい成績をとること 夢||おかし勉強をして、いつか「パティシエ」になりたい 鈴木亜実
 - ☆夢||すしや 田口祐也
 - ☆じゅう道をがんばる 竹田和友
 - ☆夢|| (安部) ももかとピアノスト♪ 田中瑚子
 - ☆夢||まんが家 谷川晏那
 - ☆剣道の大会でいっぱいかちたい 田野泰成
 - ☆夢||走幅跳で食ってく 千代 学
 - ☆少年団の水泳で、ベストタイムをたくさんだす 中野好花
 - ☆夢||プロのバスケット選手 鍋野彰吾
 - ☆国語の漢字がにがてなので漢字をがんばる 西谷英輝
 - ☆野球の十勝大会で優勝することです 府川拓郎
 - ☆私は体がかたいので、やわらかくなりたいです。なので頑張ります 夢||かんごふさん 府川舞海
 - ☆夢||ケーキ屋さん 府川璃虹
 - ☆野球で全道大会めざす 藤田喬導
 - ☆夢||ペットのトリマー 細岡笙太
 - ☆大物を釣る事 増田翔太
 - ☆野球をがんばる 宮崎寛隆
 - ☆ピアノのコンクールで賞をとれるように頑張りたい 向井恵梨奈
 - ☆バスケの新人戦で優勝する!! 森内萌愛
 - ☆夢||バレエの先生 森 雛子
 - ☆勉強についていけるようにがんばる。自学をたくさんする 夢||絵を描く仕事。マンガ家とか 山西麻由稀
 - ☆勉強とスポーツを両立して頑張りたいです 飯山雄登
 - ☆夢||公務員 井沼真帆
 - ☆少年団や勉強を頑張りたい 夢||楽器を吹く人です 合田摩央
 - ☆英語をがんばる 夢||葉ざい師 古寺若菜
 - ☆2010年からは中学生なので、勉強をがんばりたいです! 小林春香
 - ☆美容師になりたいです 小林春香
 - ☆中学校の勉強を頑張りたい 夢||白バイ警官になって人のためになりたい 寺内優友
 - ☆勉強をがんばる。中学生になったら勉強がどんどんむずかしくなるからみんなにおいていかれないようにする 戸叶太朗
 - ☆中学校に行つてからも勉強をがんばりたいです 夢||父のあとをつぎ農家の仕事をしたたいです 土蔵海渡
 - ☆中学の難しい勉強もスラスラ解けるようになりたい。大好きな漢字は沢山覚えてもつと上手く書けるようになりたい 夢||家の跡を継いで、家族に恩返しをしたい 西村虎大佑
 - ☆勉強と部活の両立をがんばりたいと思いたい 夢||今のところ「医者」になりたいと思つてます 藤沢天音
 - ☆部活と勉強を両立できるようにしたいです 夢||プロ野球選手になりたいです 真鍋 慧
 - ☆たつきゅうががんばる! 夢||コックになること 矢田直樹

生活・介護支援 サポーター養成事業

生活・介護支援サポーター養成事業は、地域で高齢者および障がいのある人の生活を支える仕組みを作ることを目的に、支援の必要な高齢者や障がいのある人に対して、見守りと買い物支援を行う「安心生活創造事業」や在宅福祉ネットワーク活動の担い手を養成する「生活・介護支援サポーター養成研修」の実施および「サポーターの登録」、高齢者や障がいのある人の生活を支える事業への参画を行う取り組みとなっています。

この事業は町が実施主体となり進めますが、サポーター養成研修の実施やサポーターの登録など、事業の一部を社会福祉協議会に委託して行います。

今年度は、生活・介護支援サポーター養成事業を理解し、サポーター養成研修に参加していただくための「キックオフイベント」を実施し、その後、二回に分けて「サポーター養成研修」を実施します。

サポーター養成研修プログラム

日程	時間	内容	講師・担当
日程① 本別南地区 2月8日(月) ふれあい交流館 本別北地区 3月5日(金) 健康管理センター	10:00~10:15	◎開校式	町担当部局 社会福祉協議会
	10:15~12:00	◎生活・介護支援サポーターとは ◎地域の資源や現状・ニーズを知る ◎高齢者・障がい者福祉施策を知る ◎個人情報保護について	町担当部局
	13:00~16:00	◎地域で行われている様々な活動を知る ◎どんな社会資源があれば、安心して暮らせるまちになるか検討する	地域活動実践報告 民生・児童委員活動 在宅福祉ネットワーク活動 銀河サロン活動 やすらぎ支援員活動
日程② 本別南地区 2月15日(月) ふれあい交流館 本別北地区 3月12日(金) 健康管理センター	9:30~11:00	◎高齢者の特性と理解について	町担当部局
	11:00~12:00	◎障がいの特性と理解について	足寄町役場福祉課 佐々木浩治次長
	13:00~14:30	◎基本マナーについて ◎利用者の尊重・秘密保持について ◎コミュニケーションの重要性	帯広大谷短期大学 専任講師 斉藤 征人
	14:30~16:00	◎コミュニケーションの演習	
日程③	期間を決めての実施	◎地域での活動体験 (元氣いきいき教室、元氣いきいきクラブ、銀河サロン活動、ネットワークで取り組んでいるサロン活動 ほか)	
日程④ 本別南地区 2月26日(金) ふれあい交流館 本別北地区 3月26日(金) 健康管理センター	13:30~15:00	◎地域活動のふりかえり	町担当部局 社会福祉協議会
	15:00~15:30	◎閉校式	町担当部局 社会福祉協議会

※養成研修は、本別南地区と北地区に分けて2回行いますが、受講者の都合により居住地区と異なる会場での受講も可能です
※受講料は無料です
※参加申し込みは、自治会を通じて取りまとめを行います。直接、次の問い合わせ先に申し込むこともできます

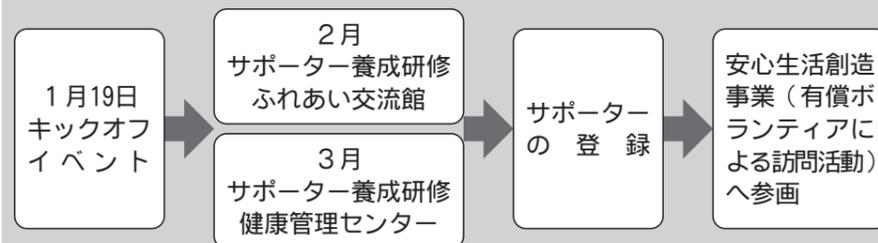
主催：本別町／社会福祉法人本別町社会福祉協議会

共催：本別町ボランティアセンター会議

後援：本別町在宅福祉ネットワーク連絡協議会／本別町自治会連合会／本別町民生委員児童委員協議会
本別町在宅介護を支える会／チャレンジド・ネットワークほんべつ／銀河サロン運営委員会

お問い合わせ
総合ケアセンター
☎222-8520
社会福祉協議会
☎222-80320

生活・介護支援サポーター養成事業の今後の流れ



※平成22年度は、勇足・仙美里・本別の3か所で、サポーター養成研修を開催予定です

キックオフイベント

とき **1月19日(火) 午後1時30分～午後4時**

ところ **中央公民館 大ホール**

内容 ①安心生活創造事業について

家族のサポートが得られない高齢者・障がい者世帯に対して、見守りと買い物支援を行う安心生活創造事業についての説明を行います

②サポーター養成事業 記念講演

テーマ「ボランティア活動と住みよい福祉のまちづくり」

講師 KT福祉研究所 代表 松藤和生氏

まちには、様々な人が生活していることをはじめ、みんなが住みやすい福祉のまちづくりのために、援助活動の歴史を振り返りながらボランティア活動の必要性について講演いただきます

③生活・介護支援サポーター養成研修の実施について

2月と3月に実施するサポーター養成研修の説明と参加の呼び掛けを行います

対象 本別町民(地域での福祉活動に興味のある人、地域で福祉活動を行っている人)



松藤和生氏プロフィール
淑徳大学社会福祉学部卒。
千葉市社会福祉協議会に十二年勤務後、両親の介護のため退職「介護生活」を一年。その後福祉・介護系専門学校講師を経て研究機関で調査・研修活動に入る。
現在は、福祉・ボランティア関連の研究活動をする傍ら、大学・専門学校での講義や社会福祉協議会・福祉施設職員・民生委員などを対象とした研修講師として、全国各地で福祉全般・ボランティアに関する講演活動年間一五〇回以上行っている。
〈現在の主な役職〉
・敬愛大学講師(地域ボランティア論)
・千葉市ボランティアセンター運営委員
・国立病院機構千葉東病院福祉サービスクラス苦情解決委員
・東京都福祉サービスクラス第三者評価員



福留教授は、生涯学習でまちづくりを進める全国の市町村を取り上げ、住民が自ら動き自分たちでまちづくりを行って成功した例を数多く紹介しました。「生涯学習を通じて生まれる新しい発想が、まちを変える」とまちづくりへのきっかけと方法を話しました。

聖徳大学 福留 強 教授

事例紹介

「田舎が輝くまちづくりの全国的な事例を学ぶ」

基調講演

「田舎力 地域に眠る宝を探し発信する」

環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー 金丸 弘美 氏



金丸氏は「自分たちの町を自分たちが自信を持って自慢できる場所は成功する。元気な町である魅力を発信しないと若者も寄つてこない」と話し、コウノトリの保護増殖を目指し、土地や水質の環境改善にまちが一丸となって取り組んだ兵庫県豊岡市の話を紹介しました。国内絶滅の危機となったコウノトリを守るため、農業を使わず、土壌や水質の改善に取り組んだ結果、上質の米や豆ができたことからお酒や豆腐を地域の特産品として開発し、それを求める人がまちに足を寄せることで地域活性化につながったことを話しました。このほか多くの事例をもとに田舎の発信力の重要性を訴えました。最後に、「本別町の名産の豆を毎日必ず食べ、自らがまちのいいところを理解し、まちの自慢をどんどん外に発信していきましょう」とメッセージを送りました。

平成21年度

北日本 生涯学習

まちづくりフォーラム

全国生涯学習市町村協議会主催の北日本生涯学習まちづくりフォーラムが、十一月二十八日に中央公民館で行われました。「田舎が輝くまちづくり ひとが動く まちが変わる」をテーマに事例紹介や基調講演、対談、これまでの生涯学習によるまちづくりについての検証をパネルディスカッションで行いました。会場には、協議会に加盟する団体や町民約三〇〇人が来場し、生涯学習の大切さを学びました。





パネルディスカッション 「生涯学習による まちづくりを検証する」

パネルディスカッションでは、本別町での生涯学習とまちづくりを検証しました。

● 高橋正夫町長

平成九年以降本別町に災害が起るたび、ボランティアで多くの町民が支えてくれ、大変な事態を乗り越えることができた。町民それぞれが、みんなのために何ができるかを考え、自然に町民同士のつながりも生まれてきた。これからもつながりのあるまちづくりに努めたい。

● 今野公司会長

生涯学習って何か？というところからスタートし作業を進めてきた。自らが学び、個々の知識が高まることで、サークルや自治会が盛り上がり、人と人のつながりによって、まちづくりが進むことがわかった。これからも、生涯学習の観点でまちづくりを進めていきたい。

● 小山忠弘塾長

町民によるまちづくりの結果として、リサイクル率全道一位が挙げられる。自分たちのまちをどうにかしようという意識の表れではないか。仕掛け人と支える人がいて新しいまちづくりができる。自分の人生が地域にどうかかわるか。生活そのものが生涯学習であることが全体のキーワードではないか。

● 福留 強教授

全国を見ても生涯学習を通じてまちづくりはまだ発展途中である。行政だけで頑張っても何も変わらない。子どもも大人も巻き込み、ひとを育て、日々まちづくりに携わることが大切。



パネルディスカッション終了後、参加した全国の市町村長からも、それぞれのまちづくりについて報告され、全員の拍手でフォーラムを閉めました。

● 大西雅之代表

北海道に残るアイヌ文化はかけがえない財産。周りに支えられながらまちづくりが進められる。老若男女全員でまちづくりをすることが一番まとまりがよく、進めていく。

対談

田舎を創る ひとを育てる

小山塾長は、北海道の地場産業が落ち込み、町から若者が離れていく理由に、教育の中で地場産業の大切さを学ぶことが不足していると指摘し、地場産業の発展が、若者が都会へ流出するのを防げるのではないかと提案しました。また、行政主導ではなく、自分たちの手でこの町をどうしていくのが生涯学習であり、大きな課題ではないかと述べました。大西代表は、鶴雅グループの経営

ふるさと再生塾

小山忠弘塾長



VS

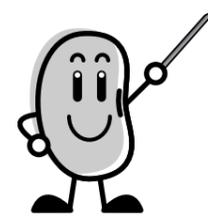
阿寒鶴雅グループ
大西雅之代表

理念「郷土力を磨き、地域とともに百年ブランドを作り上げる」を発表し、阿寒のまりも再生プロジェクトに参画し、この活動を通じ地元に残る産物を大切にしてまちづくりに活かすことが大切と話しました。最後に、小山塾長が「田舎力とは過疎力でもあり、都会の人は田舎へ新しい価値観を求め、田舎はそれに合わせた回帰力を持つことが必要である」とまとめました。



新型インフルエンザ

道内での感染者は減少傾向にあるものの現在も、警報レベルの流行が続いている新型インフルエンザ。町では町国保病院および幡医院において、十一月中旬から新型インフルエンザの予防接種を開始いたします。



予防接種は順次受付を行っています

新型インフルエンザワクチンは、当面供給できる量に限りがあるため、国はより必要性の高い方々に接種の機会が提供され、重症化しやすい対象者から優先的に接種できるよう次のスケジュールを決めています。

対象	接種開始日
妊婦 基礎疾患（最優先）	11月16日 ※予約受付中
基礎疾患（その他） 1歳から就学前の幼児	12月2日 ※予約受付中
小学生 1歳未満児等の保護者	12月16日 ※予約受付中
中学生、高校生	1月13日 ※予約受付中 ※中学3年生と高校3年生は12月30日から接種を開始しています
高齢者	1月下旬（予定）



※16歳未満の人の予防接種は保護者同伴が原則ですが、中学生については保護者がワクチンの接種に係る安全性等を十分に理解し同意することで、その保護者の同伴がなくとも接種を受けることができます。同意には保護者の同意書への署名が必要ですので、予約時にお渡しします

基礎疾患の判断は主治医が行います

基礎疾患のある人の接種には、原則「優先接種対象者証明書」が必要です

- ① 町国保病院および幡医院に通院中の人
 - ・予約の前に町国保病院に照会し、基礎疾患に該当するかどうかを事前確認しますので、お電話などで健康管理センターにお問い合わせください
 - ※外来の混雑を避けるための対応ですので、ご協力願います
 - ・幡医院に通院中の方は、予約の前に医院で証明書を記入していただいでください
- ② 町外の病院に通院中の人
 - ・通院している医療機関で接種することもできますが、地元の病院での接種を勧められた場合は、主治医に「優先接種対象者証明書」の発行を依頼してください。

- 町国保病院
毎週月曜日・水曜日
午後3時30分～午後4時30分
- 幡 医 院
1月13日(水)、27日(水)、2月10日(水)
午前9時～午前11時30分
午後1時30分～午後5時

2回接種 1歳から就学前の幼児、小学生

1回接種 妊婦、高齢者、基礎疾患のある人、1歳未満児等の保護者、中学生、高校生
※免疫機能が落ちている基礎疾患のある人は、医師の判断で2回接種できます

1回目：3,600円 2回目：2,550円

町民税非課税世帯については接種費用負担を免除（無料）とするほか、課税世帯においても次の通り費用の半額を助成します。

◎費用負担免除対象者（無料） 優先接種対象者で町民税非課税世帯に属する人（生活保護含む）

◎半額助成対象者 妊婦・1歳から就学前の幼児・小学生・中学生・高校生・1歳未満児等の保護者で町民税課税世帯に属する人

町内での接種場所および接種日

接種回数

接種費用および本別町の助成について

予防接種は予約が必要です お申し込みには印鑑をお持ちください

接種を希望される人は、次まで来所のうえお申し込みください。お申し込み時には、税情報などに関する同意書が必要となりますので、印鑑をお持ちください。

- 健康管理センター（北6丁目） ☎ 22-2219
 - 保健福祉課（北2丁目） ☎ 22-8130
- ※予約は接種日の1週間前までをお願いします

新型インフルエンザ ワクチン接種の目的

予防接種の目的は、患者が集中発生することによる医療機関の混乱を避けることにあります。

今回の新型インフルエンザワクチンは、これまでのデータから重症化や死亡の防止に一定の効果は期待されます。

しかし、感染を防止する効果は証明されていないため、接種したからといって必ずしも感染を防ぐことはできません。

ワクチン接種は任意接種です

ワクチン接種はインフルエンザの重症化を防ぐ効果はありますが、接種後に接種部位が腫れたり、熱が出るなどの症状が見られることや、まれに重い症状を引き起こす可能性もあります。

この点をご理解いただいたうえで、個人の判断により接種を受けていただくようお願いいたします。

詳しい情報は本別町のホームページをご覧ください

<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp> お知らせー新型インフルエンザ

インフルエンザに関するお問い合わせ・ご相談は健康管理センターへ ☎22-2219

第六次本別町総合計画

Part8

第六次本別町総合計画策定に向けた 町民意向アンケートにご協力ください

町民の皆さんには、日ごろより町政にご関心をお寄せいただき、また、本別のまちづくりへご参加いただき、誠にありがとうございます。

ご承知の通り、本別町では現行の総合計画が平成二十二年度をもって終了することから、本年五月に町民二十七人からなる「第六次本別町総合計画策定審議会」を設置し、これまで四回の審議会を開催し、本別町の将来のまちづくりをどう進めていくかを協議してきました。

今回、町広報紙を通じて、全世帯の町民の皆さんに本別の課題やまちづくりの進め方について、ご意見（主として重要度）をお聞かせいただきましたアンケートを実施いたします。

アンケートの結果は、平成二十三年度からスタートする第六次本別町総合計画策定の参考資料として活用するとともに、今後のより良い行政サービスを提供する仕組みづくりのための基礎資料として有効に活用させていただきます。

このアンケートは一月二十一日（金）までに、本紙18ページ（A4判）の「第六次本別町総合計画回答表」に回答をご記入の上、お手数ですが、次の「封筒作成要領」を参考に封筒にして郵便ポストに投函するか、回答表記載面をFAXにて送信し

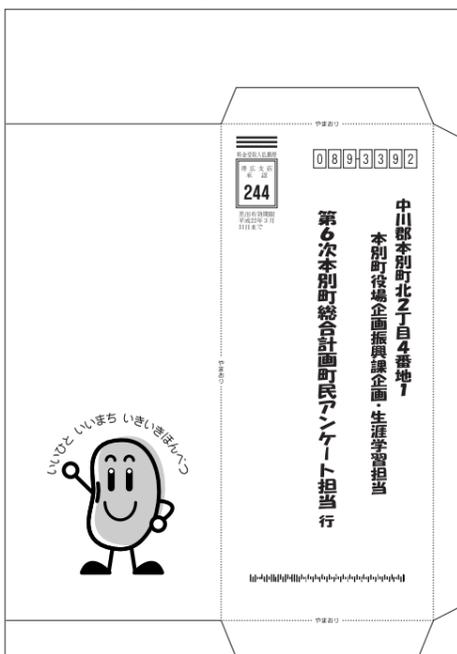
てくださいます。 ※ご家庭で複数の回答をする場合は、ご面倒でもコピーなどをして回答してください ※アンケートに関するご質問や総合計画策定に関しご意見がありましたら、次までお問い合わせください。

※この「回答表」に回答をご記入ください

なお、このアンケート終了後、個人情報以外はすべて公開し、寄せられた意見等は町民の皆さんと役場で共有していきます。 町政に広く町民の皆さんのご意見を反映するアンケートですので、どうぞ最後までもれなくお答えいただけますようよろしくお願いいたします。

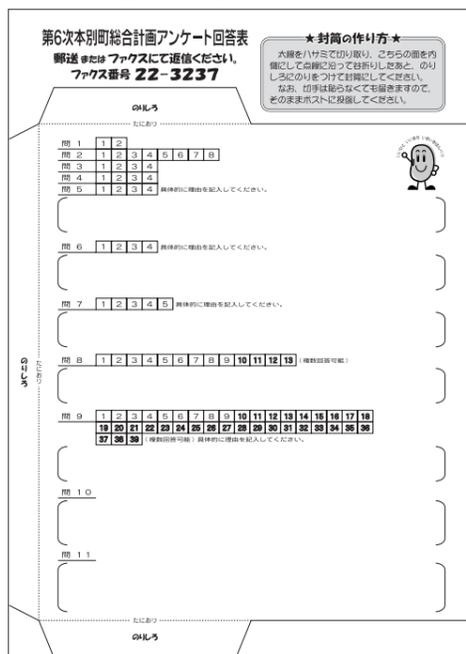
お問い合わせ
【事務局】企画振興課企画・生涯学習担当
（大橋・舩館）
〒089-3392 本別町北2丁目4番地1
【TEL】22-8121（課直通）
【FAX】22-3237
【E-mail】kikaku@town.honbetsu.hokkaido.jp

「封筒作成要領」※17ページ



①太線に沿ってハサミで切り取る
②点線に沿って折ったあと、裏面ののりしろのりを付けて封筒にして郵便ポストに投函してください
※切手は必要ありません

「第6次本別町総合計画回答表」※18ページ



※この「回答表」に回答をご記入ください

やまおり

0893392



料金受取人払郵便

帯広支店
承認

244

差出有効期限
平成22年3月
31日まで

中川郡本別町北2丁目4番地1

本別町役場企画振興課企画・生涯学習担当

第6次本別町総合計画町民アンケート担当行

やまおり



第6次本別町総合計画策定に向けた 町民意向アンケート

回答は18ページの回答表に記入してください。
回答方法は、あてはまる番号を選び○で囲んでいただくか、具体的な内容を記載してください。

問1 性別

1. 男性 2. 女性

問2 年齢

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代
8. 80代以上

問3 同居している家族の中で下記にあてはまる人はいらっしゃいますか？（あなた自身は除く）

1. 6歳未満の乳幼児 2. 小・中・高校生 3. 65歳以上の人
4. 上記（1～3）に当てはまる人はいない

問4 居住地

1. 本別地区 2. 勇足地区 3. 仙美里地区 4. 美里別地区

問5 総合的にみて本別町政についてどの程度満足されていますか？

1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満

問6 本別町役場は行政機関としてどの程度信頼できますか？

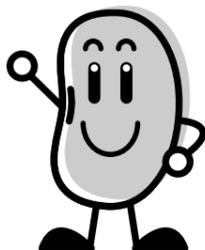
1. 信頼できる 2. まあ信頼できる 3. あまり信頼できない 4. 信頼できない

問7 あなたは、これからも本別町に住み続けたいと思いますか？

1. 住み続けたい 2. どちらかといえば住み続けたい 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みたくない 5. 住みたくない

問8 問7で「4. どちらかといえば住みたくない」「5. 住みたくない」と回答した人にお伺いします。「住みたくない」と思う理由を選んでください（複数回答可能）

1. 日常の買い物が不便
2. 町内に適当な職場が少ない
3. 保健・医療分野のサービスや施設が不十分
4. 福祉分野のサービスや施設が不十分
5. 道路事情や交通の便が悪い
6. 自然の減少や環境の悪化が進んでいる
7. スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分
8. 地域の行事や近所づきあいが面倒
9. 住環境の整備が遅れている
10. 子どもの保育・教育のことが心配
11. 消防、防災、防犯体制に不安を感じる
12. 上下水道など生活環境施設の整備の遅れ
13. その他（ ）



第6次本別町総合計画アンケート回答表

郵送またはファクスにて返信ください。
ファクス番号 22-3237

★封筒の作り方★

太線をハサミで切り取り、こちらの面を内側に点線に沿って谷折りしたあと、のりしろにのりをつけて封筒にしてください。
なお、切手は貼らなくても届きますので、そのままポストに投函してください。



のりしろ

たにおり

問 1	1	2							
問 2	1	2	3	4	5	6	7	8	
問 3	1	2	3	4					
問 4	1	2	3	4					
問 5	1	2	3	4	具体的に理由を記入してください。				

問 6	1	2	3	4	具体的に理由を記入してください。				
-----	---	---	---	---	------------------	--	--	--	--

問 7	1	2	3	4	5	具体的に理由を記入してください。				
-----	---	---	---	---	---	------------------	--	--	--	--

問 8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	（複数回答可能）	
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----------	--

問 9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
	37	38	39	（複数回答可能）具体的に理由を記入してください。															

問 10

問 11

6ページ
たにおり

たにおり

のりしろ



道の駅パン工房アリコヴェールによる「焼きたてパンの特売」



無料で配られた商工会女性部手作りの「おしるこ」



J A本別町の「じゃがいも詰め放題」

本別町収穫祭

生マメ・長イモに長蛇の列

「本別町収穫祭」(J A本別町・本別町商工会・NPO法人銀河ほんべつ・本別町共催)が11月21日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。

当日は、午前10時のオープン30分前にはJ Aテント前に、生マメや長イモを買い求めるお客さん150人以上が長蛇の列をつくり、長いも5kg詰めと10kg詰め合わせて110ケースは20分で完売。小豆や光黒大豆など7種類の生マメ約2tの升売りも、店頭販売の3分の1程度の安さということもあり飛ぶように売られていました。

会場には、焼きたてパンの特売や焼き鳥、やきいも、友好都市徳島県小松島市の農水産物販売のほか、本別町商工会婦人部(小川睦子部長)手作りのおしるここと本別町牛乳消費拡大推進委員会(伏見重慶委員長)による牛乳が無料で配られ、大勢の来場者でにぎわいました。

問9 あなたは、まちづくりの中で、今後、特に力を入れて進めていくべきものはなんだと思いますか? 1から39の施策の中から選んでください(複数回答可能)

(保健・福祉・医療などについて)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 児童福祉・子育て支援の充実 | 2. 高齢者福祉の充実 |
| 3. 障がい者福祉の充実 | 4. 地域で支え合う福祉体制づくり |
| 5. 健康づくりの推進 | 6. 医療体制の充実 |

(教育・文化・スポーツなどについて)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 7. 学校教育(小、中、高)の充実・幼児教育の充実 | 9. 社会教育・文化環境の充実 |
| 8. スポーツ・レクリエーション環境の充実 | 10. 青少年の健全育成 |
| | 11. 歴史文化遺産や伝統芸能の保護、保存 |

(生活環境の整備などについて)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 12. 市街地の整備 | 13. 河川の整備 |
| 14. 公共交通機関の充実 | 15. 道路網の整備 |
| 16. 情報化社会への対応 | 17. 水道の整備 |
| 18. 下水道・排水処理施設の整備 | 19. 住宅・宅地の整備 |
| 20. 公園・緑地の整備 | 21. ごみ処理・リサイクル体制の整備 |
| 22. 消防・防災対策 | 23. 交通安全・防犯対策 |
| 24. 墓地・火葬場の整備 | 25. 自然保護・公害防止等の環境保全施策 |
| 26. 低炭素社会の構築 | |

(産業の振興、雇用の場の確保について)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 27. 農林業の振興 | 28. 商工業の振興 |
| 29. 消費生活者対策の整備 | 30. 観光の振興 |
| 31. 若者の定住促進のための施策 | 32. 就労の場の拡充 |

(住民参加・広報広聴・行財政運営などについて)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 33. 住民参画・協働のための施策 | 34. 地域活動・コミュニティ活動の促進 |
| 35. 広報・広聴活動の充実 | 36. 男女共同参画社会実現のための施策 |
| 37. 行財政運営の効率化 | 38. 広域行政の推進 |
| 39. 国際交流・地域間交流の推進 | |

問10 策定審議会では、これまでの議論の中で、仕事づくり(農業・福祉・環境・教育・まちづくり等のあらゆる分野)を大きな課題ととらえています。今後、本別で取り組める仕事、雇用の拡大、起業等で、新たにどんなことが出来るかを提案してください

問11 今後のまちづくりについて、あなたは本別町をどのようなまちにしたいと思いますか?



芽室町で進められている、発達障がいのある人への支援の取り組みを紹介する清末有二さん

障がい者週間記念事業講演会

発達障がいへのバリアフリー

チャレンジド・ネットワークほんべつ（新津和也代表）主催による「障がい者週間記念事業」が12月5日、中央公民館で開催されました。

この事業は、12月3日から9日までの障がい者週間に合わせて行われたもので、「発達支援システムについて～ライフステージに応じた取り組み～」と題して、芽室町子育て支援課の清末有二さんが講演しました。

清末さんは、芽室町で平成21年4月から取り組んでいる、発達障がいのある人を対象とした乳幼児期から成人期までの、保健・福祉・教育が連携した支援を紹介。その中で、発達障がいの早期発見、早期療育のために乳幼児の1歳6か月健診を1歳9か月に、3歳児健診を3歳6か月に変更したことや、成長の過程から就労後まで本人や保護者への支援を行っていることなどに触れ、本人や親へのサポートの大切さを訴えました。

最後に「発達のタイプは人によって異なるが、発達障がいのある人も周囲の理解や適切な支援があれば力を発揮することができると語り、理解が最大の支援であり、「発達障がいへのバリアフリー」が今後の大きなテーマであると強調し、会場に訪れた約110人の参加者は真剣な表情で話しに耳を傾け、障がい者への支援の大切さを学びました。



真剣な眼差しで講演を聞く来場者

ほんべつ学びの日の集い

学びの日の活動の輪を広げよう

「ほんべつ学びの日の集い」（教育委員会主催）が11月21日、中央公民館で開催されました。

本別中央小学校ブラスアンサンブルによる演奏がオープニングを飾り、若木佳則教育委員長が「将来を担う子供たちとのかかわり方の参考となり、全町民の教育への関心を高め、有意義な集いとなることを願います」とあいさつ。

地域や学校で様々な取り組みや活動を発表する実践事例発表では、小学生から高校生までの11人と子供育成関係者や教諭など5人がそれぞれの視点で思いを発表。

地域の人との触れ合いは、大人も子供も互いに学べる場所であり、教科書では学べないことを教えてくれる場所であると発表され、学校、地域、家庭で連携しながら、地域に愛着をもった子供たちをはぐくみましょうなどと提言がありました。

最後にコーディネーターを務めた大西光夫町体育協会会長は、「地域全体で将来を担う子供たちを育て、学びの日の輪をさらに広げていきましょう」とまとめられ、3年目を迎えた学びの日に参加した約200人は、人との触れ合いの大切さを学びました。



小学生から高校生まだが地域や学校での取り組みを発表



教諭などから、子供の教育に関わる提言



会場に訪れた多くの参加者

本別町国民健康保険病院

運営モニター会議

職員一同一層の努力下、さらなる前進

第8回町国保病院運営モニター会議が11月30日、総合ケアセンターで開催されました。事務局から10月末現在の患者数、収益の状況が報告されたほか、新型インフルエンザ流行によるこれまでの受診状況や、診療体制の充実、年内に本格稼働するオーダーリングシステムについて説明がありました。

モニターからは、オーダーリングシステム導入による患者への負担や、オーダーミスの有無について質問があり、オーダーリングシステム導入により、内部の処理時間や患者さんの待ち



時間が短縮されることと、チェック機能もシステムに盛り込まれているため、ミスは防げるようになっていくと説明がありました。最後に、一条正彦院長から、導入当初は一部混雑することが考えられるので、ご理解をいただくとともに、職員一同いっそうの努力をし、さらなる前進をしていきたいとあいさつがありました。



意見交換するモニターの皆さん

一条院長は「病院に対する認定基準が厳しくなった印象を受けている。今後もしっかりとした体制づくりを図り、全国の基準に合うようにしていかなければならない。今後も継続して認定を受けられるよう努力していきたい」と抱負を語りました。

認定は平成十六年一月二十六日に続く二回目、前回認定のバージョン3・1より審査レベルの高いバージョン5・0となりました。認定期間は前回の認定の継続で平成二十一年一月二十六日から平成二十六年一月二十五日までの五年間。今回の認定にあたっては、「医師の確保に努めてください」という条件がついているものの、同機構の訪問審査を受診した際に指摘のあった「カルテの管理方法」について改善を図ったほか、五三二の小項目についての厳しい条件をクリア。



認定証を手にする一条正彦院長

町国保病院（一条正彦院長）が十一月六日付けで、医療機関の第三者評価を行う財団法人日本医療機能評価機構から、町村立病院では道内唯一の病院機能評価の認定を受けました。

病院機能評価認定



町民に愛される病院づくりを目指して

HELLO 本別中学校

教育目標

力行 力いっぱい学ぶ生徒
 方正 真面目に考え行動する生徒
 錬磨 身も心も鍛える生徒

学校祭・本中強歩・地域参観日など
 「本別学びの日」関連事業～光風・実風の中で～



学校祭「全校合唱」



学校祭「3学年展示」



ボランティア活動「フラワーロード」



聴き書きイベント「介護福祉コース」



学校祭「吹奏楽演奏」



総合的な学習発表会「手話コース」



総合的な学習発表会「環境・エネルギーコース」



本中強歩

本別中学校では生徒の頑張る姿を地域参観日、学校日より、ホームページ等で家庭・地域に発信しております。昨年も体育祭・文化祭・本中強歩・総合発表会など地域公開の行事がたくさんありました。本年度もあと残りわずかとなりましたが、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

まなび自書

生涯学習情報

いきいきほんべつ ふれあい祭り



「いきいきほんべつ ふれあい祭り」(主催 実行委員会・委員長 今野公司本別町歓び実感プラン21推進協議会会長)が十一月二十九日、町体育館で盛大に開催されました。「婦人まつり」「消費者生活展」「健康まつり」の三つの祭りを、平成十四年から同時に開催する形で始まった「ふれあい祭り」。今年も、地域で活発な生涯学習活動を実践している七個人二十四団体が、健康、福祉、各種団体の発信コーナーや特産品コーナー、フリーマーケットなどの様々な催し物を展開し、たくさんの方の参加にぎわいました。

- ① つつじの園で製作した、牛乳パックの再生紙製品などを販売する園生
- ② 消費者協会による、消費者問題に関するクイズ
- ③ フリーマーケットで掘り出し物を探す来場者
- ④ 行列ができた脳年齢測定
- ⑤ 今年も大盛況! かあさんの味「うどん・そばコーナー」
- ⑥ 今年も会場には、家族連れなど約1,200人が訪れ楽しいひとときを過ごしました



生涯学習についてのお問い合わせは、
 役場企画振興課 企画・生涯学習担当
 ☎22-8121 (課直通)

これからも仲良く 交流しましょう

11/26

開設4年目を迎えた「銀河サロン」（町社会福祉協議会主催）が11月26日、商工活性化センター（アースホール）で節目を祝う集いを開催しました。これからもみんなで支えあい、自分の身体も大切にしながら交流を続けていきたいと思います。この日用意された赤飯や吸い物、ケーキなどを囲みながら、楽しい時間を過ごしました。



2009アットホームコンサート ハーブの夕べ

11/27

本別ライオンズクラブ（朝日基光会長）主催による2009アットホームコンサート「ハーブの夕べ」が11月27日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開かれました。釧路市在住のハーピスト板本絹子さんが、曲ごとに大小2台のハーブを使い分け「千の風になって」「きよしこの夜」など全10曲を演奏。会場を訪れた約70人は、静まり返った会場に流れるハーブの音色に酔いしれていました。当日は午前中に、青少年健全育成の一環として本別中央小学校でも演奏会が実施されました。



安全運転を！

11/26

本別中学校（西岡敏幸校長、174人）の生徒会生活委員会（鈴木優会長＝3年）が11月26日、北8丁目ふれあい公園で交通安全キャンペーンを行いました。参加した同委員会の約80人の生徒は、手作りのキーホルダーや交通安全の標語を道行くドライバーに手渡ししながら「セーフティドライブをお願いします」と元気に呼び掛けました。



ちびっこ運動会

11/30

家庭支援・教育事業「なかよし」のちびっこ運動会が11月30日、健康管理センターで開催されました。親子で楽しく運動しようと企画された同事業には、0歳から3歳までの幼児とその親34組75人の親子が参加。「かけっこ」「障害物競走」「おやつ競争」の3つの競技を行い、親子で触れ合いながら楽しいひとときを過ごしました。



災害に備えて図上訓練

12/4

地図を囲んで災害時の対応策を考え、防災意識を高めることを目的とした「本別町災害図上訓練」（十勝支庁・本別町共催）が12月4日、町体育館で開催されました。訓練は、5グループに分かれてワークショップ形式で実施され、出題された「就寝中に発生した大地震後の避難前にする行動の確認」や「避難時に、成人男性が自動販売機の下敷きになり、骨折していると仮定した緊急時の救助方法」などの具体的な災害想定について活発な意見交換と発表がされました。本別警察署と本別消防署は、「人命を第1に考えてほしい」「自分や家族の命を守ることが大切」「救助は自分自身の安全を確保してから」などと助言。参加した、市街地自治会員約50人は、日ごろからの災害に対する備えと、災害時に協力しあえる隣近所との体制作りが大切であると再認識しました。



本別ブラスアンサンブル クリスマスコンサート

12/5

本別ブラスアンサンブル（唯野靖紀会長）による「クリスマスコンサート」が12月5日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。2つのステージで構成されたコンサートでは、クリスマスにちなんで「ジングルベル」や「サンタが町にやってくる」など全10曲が演奏されたほか、サンタの衣装を身にまとった団員による毎年恒例のクリスマスプレゼント抽選会も行われ、約90人の観客は一足早いクリスマス気分を味わいました。



素敵な音色に 包まれて

12/6

本別混声合唱団&フルートアンサンブル・ルナのミニコンサートが12月6日、町体育館で開催されました。会場全員で「見上げてごらん夜の星を」「ジングルベル」を歌うなど、合唱とフルート演奏合わせて15曲を披露。会場を訪れた約100人は、きれいなハーモニーとフルートの音色に包まれ、心地よいひとときを過ごしました。



全道大会3位の 快挙!!

12/8

12月5日・6日に江別市で開催された第7回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会において、3位という好成績を残した本別中央ジャンプスポーツ少年団（廣田健一監督）が12月8日、役場を訪れ高橋正夫町長に結果を報告しました。初戦から強豪チームと戦い抜いてきた鈴木美野梨主将は「みんなで試合を盛り上げて頑張ってきました。家族もすごく喜んでくれています」と笑顔で語り、次の大会も優勝を狙いますとさらなる意気込みを見せました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121 (課直通)

北山れいカラオケ 歳末チャリティーショー 12/20

本別町出身の歌手、北山れいさんによる「カラオケ歳末チャリティーショー」（北山れいふるさとカラオケ友の会主催）が12月20日、中央公民館で開催されました。ステージでは、北山さんがデビュー曲「女の海峡」などを熱



唱し約300人の観客を魅了したほか、町内のカラオケ愛好者14人が自慢の歌声を披露。第1部終了後にステージ上で、収益金の一部が北山さんから桑田達一町社会福祉協議会会長に手渡されました。

町ぐるみで防犯 12/15

本別警察署（畠山隆署長）と本別町生活安全推進協議会（長谷川隆司会長）が連携した歳末特別警戒出動式が12月15日、本別警察署で行われました。長谷川会長は「今年は不況により、失業者が昨年よりさらに増えた。不況の特徴である、ひったくりやコンビニ強盗などの犯罪が多発することが懸念される。本別警察署の指導のもと役場とも協力し、町民が犯罪や事故に合わないよう一層防犯に力を入れたい」とあいさつ。本別警察署前から、警察車両4台、町青パト隊車両5台に続き、3班に分かれた警察署員や自治会自主防犯組織、少年補導員など7団体約60人が徒歩で出発し、商店街を中心にティッシュやガム、犯罪防止啓発チラシなどが入った袋を道行く人などに手渡し、防犯を呼び掛けました。



もちつきで交流 12/12



絵手紙サークル「白樺」（岡林節子代表）による「ふれあい郵便交流もちつき会」（共催：町社会福祉協議会）が12月12日、中央公民館で開催されました。このもちつき会は、一人暮らし高齢者との交流を目的に始められたもので、今年もちつき保存会十五夜会（泉野健会長）や本別ボランティアクラブかめ、個人ボランティアなどの協力を得ながら、幼児から高齢者まで約90人が餅つきを通して交流。「よいしょ」の掛け声で杵と臼でつきあげられた35kgのもちは、あんもち、きなもち、雑煮などに味付けされみんなでおいしく食べました。

第17回 十勝東北部少年剣道本別大会 12/13

本別剣道連盟（鈴木清志会長）主催による第17回十勝東北部少年剣道本別大会が12月13日、町体育館で開催されました。この日は、十勝東・北部の8町から小中学生約220人が参加。試合場では、応援に駆けつけた父母などの応援を背に、真剣な眼差しをした選手たちの鋭い気合が響き渡り、1本を取るたびに会場内は大きな拍手に包まれていました。成績は次の通り。

- 【個人】
 小学生低学年女子の部 第3位=前田未郁
 小学生中学年男子の部 優勝=野崎将秀
 第3位=前田拳心
 高橋昌也
 小学生高学年男子の部 準優勝=田野泰成
 中学生女子の部 優勝=島田佳奈
 準優勝=吉田名奈

- 【団体】
 小学生中学年男子の部=優勝
 小学生高学年男子の部=準優勝
 中学生男子の部=優勝（Aチーム）
 =第3位（Cチーム）
 中学生女子の部=優勝



小松島市立江小 の児童と交流 12/21~23

友好都市徳島県小松島市から立江小学校の児童19人（5年生8人、6年生11人）と引率者3人が12月21日から23日まで交流研修のため、本別町を訪れました。21日に役場を表敬訪問し、22日は熱気球や乗馬を体験。勇足小学校（浅川佳孝校長、45人）で行われたお楽しみ会では、スケートやソリ滑りなど北海道の冬の遊びを満喫し、同校児童と交流を深めました。



子育てを考える 12/20

第47回本別町PTA連合会研究大会が12月20日、講師に本別町出身で、前の十勝教育局長でもあった、北翔大学短期大学部こども学科講師の矢花司さんを招き、中央公民館で開催されました。矢花さんは「子供を育てるということは親としても育っていかねばならない」とし、子供も自分も幸せになることを目標にと、子供のはぐみ方や向き合い方について講演しました。



歌や踊りで楽しいクリスマス会 12/14



家庭支援・教育事業「なかよし」が12月14日、子育て支援センターで「クリスマス会」を開催しました。「ゴスペル」でスタートしたクリスマス会は、「歌や手遊び」「エプロンシアター」「大型絵本」などが行われ、ゆうゆうサークルによる「サンサン体操」では、参加した42組89人の親子がスキンシップを図りながら、元気に踊りました。最後に登場したサンタさんからは子供たちにクリスマスプレゼントが手渡され、楽しい一日を過ごしました。

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんのお愛に包まれてすくすく元気に育ってね!



北五丁目
今野 愛理 (奈里ママ)



北四丁目
杉原 光騎 (裕菜ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

みんなの健康

305

腸は「第二の脳」ともいわれるほどに重要です。その腸内環境は、私たちの健康維持に深くかかわっていることが明らかになっていきます。食べた物の栄養素は腸で吸収され、私たちの活力源になります。また腸はストレスなど精神的な影響も受けやす

腸に力をうけよう!

く、悩み事があったり、忙しかったり、気をつけておけばかなりの生活を続けていると、腸内環境にも影響を及ぼします。腸内環境は自分の行動次第で確実によい方向へと導くことができますので、将来の健康状態を決めるのは、まぎれもなく自分自身だということを忘れないでください。では、腸内環境がよい状態のときには、どんな便が出るのでしょうか? 黄褐色でバナナくらいの大さきものが一〜二本、水に沈まず、排せつ後はすっきりとした気持ちよさを感じる状態が「快便」です。毎日ほぼ決まった時間に排せつできているなら、ベストコンディションです。

快便にするために食事で注意することは、腹八分目を心掛け、よくかんで食べることが基本となります。さらに、食事の時間を規則正しくすることが胃腸の働きにリズムを持たせ、機能を高めることにつながります。特に朝ごはんは腸に良い刺激となるので、欠かさずとりたいたいものです。脂っこい食事は、消化に時間がかかり胃腸に負担をかけてしまうため、消化のよい素材選びと調理法の工夫も大切です。たんぱく質の食品も食べ過ぎると胃腸に負担をかけてしまいますが、細胞組織や消化酵素のもとになる重要な栄養素です。で、高たんぱく低脂肪のものでお薦めです。そして食物繊維は野菜をはじめ、くだものや海藻、きのこ、豆などにも豊富に含まれていますので、しっかりと摂取したいものです。排便が健康的でないと、痔や肌荒れなどの不調をきたすだけでなく、生活習慣病などさまざまな病気の原因にもなります。腸の健康は食事から始まります。バランスのよい食事を心掛け、規則正しい生活と適度な運動を行い「快便」を目指してください。

健康管理センター
管理栄養士 小川敦子

冬の本別・十勝の大自然の中を歩くとスキーで楽しみませんか?

本別歩くスキーの会では、会員(年会費一〇〇〇円)を募集しています。あなたも、一緒に楽しく活動しませんか。

また、次の通り事業を予定しています。会員でない人でも自由に参加できますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。道具等は町教育委員会または当会でも貸し出ししています。

☆問い合わせ先
会長 福田俊男(西仙美里) ☎24-2816
事務局 月井 明(北五丁目) ☎22-2753

事業名	とき	集合場所
モップの沢新年歩くスキーの集い	1月9日(土)	本別公園義経の館前 午前10時集合
太陽の丘歩くスキー	1月24日(日)	太陽の丘パークゴルフ場 駐車場・午前10時集合
オンネットースキーハイキング	2月13日(土)	町体育館前 午前8時集合
芽登温泉のんびりスキーハイキング	2月28日(日)	町体育館前 午前8時集合



銀河ホップ・ステップ・ジャンプ

足寄町 陸別町

雌阿寒スキー ハイキング

歩くスキーで、冬の雌阿寒温泉周辺の自然観察と森林浴を体験します。終了後は、温泉で休養します。

日時 2月14日(日) 午前10時

場所 雌阿寒温泉前集合
※足寄町より送迎バスご利用の方は、午前9時に足寄町民センター

陸別町 第29回 しばれフェスティバル



冬の夜空に花火が満開
真冬の祭典。「しばれフェス」で皆様のお越しをお待ちしています。

とき 2月6日(土) 7日(日)

ところ 宇遠別イベント広場

前に集合してください
コース 雌阿寒温泉から茂足寄周辺(予定)

定員 35人(先着順)

参加料 1人 500円

その他 歩くスキー、昼食、入浴道具は各自で用意ください。昼食時には温かい豚汁をご用意します

申込締切 2月4日(木)

申込先・詳細 あしよる観光協会 ☎25-16131

内容 人間耐寒テスト、しばれ花火、ジャンボパチンコ、ジャンボ滑り台、キアラクターショー、大抽選会などほかにもいろいろ用意しています

人間耐寒テスト参加者募集
参加料 3800円
定員 150人

事前受付 100人限定
受付期間 1月12日から16日まで

問い合わせ 陸別町役場産業振興課 ☎27-12141

ご寄付ありがとうございます

平成21年11月18日から12月24日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町特別養護老人ホーム物品購入費指定	金50,000円	新町 羽賀 五月
★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定	金100,000円	匿名
	金1,000,000円	匿名
	金1,000,000円	弥生町 森 アイ
★本別町役場庁舎指定	会議用手作りテーブルクロスほか	北6丁目 大泉記美代
★眼科診療機器整備資金指定	金5,000,000円	北3丁目 前田 敏男
★図書購入費指定	金200,000円	南2丁目 株式会社岡崎組 代表取締役 岡崎 勉
個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付		
★福祉でまちづくり推進事業	金100,000円	匿名
★本のまち・夢プラン事業	金50,000円	匿名
★資料館特別展「わが町の七月十五日展」開催事業	金20,000円	匿名



図書館システムオープン 6周年記念事業

図書館は、平成16年1月15日のシステムオープンから、おかげさまで6周年を迎えます。それを記念して小学生対象の楽しい事業を行いますので、ぜひ参加してください。

お誕生

11月後半から
12月前半の
届出分

齊藤 悠真ゆうま 克久くきゅう 11/18 向陽町

山根 圭之輔けいのすけ 鉄也てつや 澄江すみえ 12/2 清流町

笠原 楼ろう 淳じゅん 陽やう 12/2 緑町

高橋 りかりか 和寛わかん のりのり 12/6 清流町

おくやみ

羽賀 清春きよはる 95歳 11/18 新町

向井 榮次郎えいじろう 90歳 11/26 美里別高東

一森 美義みぎ 80歳 11/27 拓農

図書館はおいしい?

絵本やお話の中には、おいしい食べものやお料理の出てくるものがたくさんあります。みんなで楽しく、読んで・聞いて・作って・食べてみましょう!

とき **1月15日(金)**

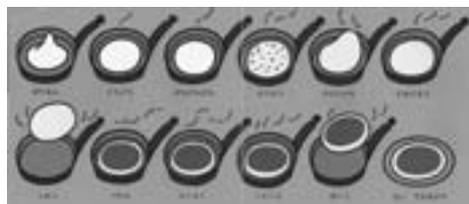
午後1時30分から

ところ **図書館2階視聴覚室**

内容 ○食べものが出てくる絵本
読み聞かせ

○お料理の先生のお話

○絵本「しろくまちゃんのほっとけーき」
をやいて食べます…おいしいのかな?



「しろくまちゃんのほっとけーき」

参加料 **無料**



本の世界は
とてもおいしいよ!



わたしたちのまち

前月比

人口 **8,575人(+1)**

男 **4,221人(-1)**

女 **4,354人(+2)**

世帯数 **3,948戸(+2)**

〔11月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくるーぶ)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112